

宇美町

エコトリコ

(2018年広報5月号)

今年の2月5日は最低気温がマイナス2.5℃を記録するなど寒い日が続いた冬でした。「こんなに寒いのだから地球温暖化なんて本当？」と思った人もいるかと思いますが、1年の平均気温は毎年上がり続けています。地球が誕生して46億年と言われていますが、これまでに南北の極点が変わった、海の底だったところが山の頂上になったりとさまざまな変化がある中で、地中の石油や石炭を採り出し、燃料として消費して文明を進めてきたのは、ほんの2000年程前から過ぎません。

現代は、室内の人口的环境を簡単に作り出すためにエネルギーを消費し、このために自然環境自然環境が壊れてしまう悪循環に、20年以上も前から世界中で「歯止めをかけよう！」と声高に叫ばれているにも拘らず、地球温暖化は進んでいます。私たちが恐れるべきは、成長期にある子どもたちに快適な環境について間違った教え方をしてしまうことではないでしょうか？あまり快適な環境ばかり追求するとそれ以外の暑い！寒い！の不満ばかりが募り、適応調整能力が低下することが懸念されます。フランスの哲学者ミシェル・ド・モンテーニュは「我々は他人の知識によって物知りにはなれるが、

賢くなるには我々は他人の知識によるしかない」との名言を遺しています。暑さ、寒さは知恵で乗り越えたいと思いませんか？ちなみに知識の話になりますが、福岡管区気象台には1890年1月からの気象データがあります。99年前の2月5日の最低気温はマイナス8.2℃だったそうです。



文責

福岡県地球温暖化防止活動

推進員

竹吉

栄隆